



AUTOPOLIS

2026 AUTOBACS SUPER GT Round 07

2026 SUPER GT 第7戦 オートポリス
10月17日(土)～18日(日)

PRACTICE 公式練習

10月17日(土) 天候：晴れ/路面：ドライ

第6戦では決勝ペースに大いに苦しみ、11位とポイント圏外で終えることになってしまったTGR TEAM ENEOS ROOKIE。今季も残すは3戦で、タイトル争いに繋げるためにはもうひとつも落とせない。シーズン最多のサクセスウエイトを積み臨む第7戦オートポリスは、シリーズを考えると重要な一戦だ。これまで ENEOS X PRIME GR Supra はオートポリスであまり良い結果を残せてはいないが、上位進出を目指します。10月17日(土)の予選日に臨んだ。

この日のオートポリスは朝から爽やかな秋空が広がっており、午前10時30分からは行われた公式練習は、気温21度/路面温度23度というコンディションで始まった。ENEOS X PRIME GR Supra は、まずは大嶋和也がセットアップを確認。GT300車両のストップによる赤旗中断をはさみ、決勝を見すえたロングランも行った。

ただ、大嶋は「アンダーステアが強く、ロングランもしながらいろいろ調整してきましたが、ちゃんと見切れなかった」という状況。20周を走り、福住に交代した。

福住はGT500クラスの専有走行の時間帯にアタックシミュレーションも行いたいところではあったが、専有走行の時間に#16 HRC Prelude-GT が第2ヘアピンでクラッシュ。そのまま赤旗でセッション終了となってしまった。ライバルたちも同様ではあるが、アタックがしっかりと行えないまま公式練習を終えることになり、ENEOS X PRIME GR Supra は大嶋が記録した1分35秒679がベストタイムに。8番手となった。

福住は「公式練習ではしっかり走ることができましたが、専有走行で僕があまり走れず、万全ではない状況で予選を迎えることになってしまいました」と午前の走行を振り返った。

すべてを確認できたわけではないが、チームは ENEOS X PRIME GR Supra を万全の状態にすべく、作業を進めていった。



QUALIFY 公式予選

10月17日(土) 天候:晴れ/路面:ドライ



午前の公式練習の後もオートボリスは晴天が続き、午後2時30分から行われた公式予選は気温23度/路面温度29度というコンディションで始まった。

公式練習ですべてを確認できていたわけではなかったが、ENEOS X PRIME GR SupraはQ1のアタッカーに大嶋を据え、Q2進出を目指すべくコースインしていった。

ただチェッカーに向け大嶋が記録したタイムは、1分33秒695というもの。順位は13番手で、Q2進出はならなかった。「ブレーキングでものすごく跳ねてしまって、クルマが暴れてしまう状況でした」と

大嶋は振り返った。13番手とはいえ僅差で、「思ったよりもタイム差も少なかったのもう少しうまくアタックができれば」と悔しい表情を浮かべた。

とはいえ、このオートボリスは多くの年で予選順位と決勝順位が大きく変わるのが特色。まだ諦めるには早い。アタックできなかった福住も「悔しいですが、決勝がすごく大事なコースなので、今日得たヒントをうまく使いたいです」と語った。

TGR TEAM ENEOS ROOKIEは、予選後も長い時間をかけ、決勝レースへ綿密なミーティングを行っていった。

RACE 決勝レース

10月18日(日) 天候:晴れ/路面:ドライ

13番手という位置で終えた公式予選から一夜明け、迎えた10月18日(日)のオートボリスは快晴で、気温25度/路面温度33度というコンディションのもと、午後1時10分に決勝レースの火ぶたが切って落とされた。ENEOS X PRIME GR Supraは、課題のレースペースの改善にトライし続け、大嶋和也がステアリングを握り序盤のレースを戦っていった。

予選後に福住も語ったとおり、このオートボリスはいかに安定したペースを保ち続けるかが重要だが、懸命に取り組んできたENEOS X PRIME GR Supraのレースペースのセットアップは、大嶋の期待を裏切るものとなってしまっていた。7周目にGT300クラスの集団が現れ、GT500クラスのなかでもバトルが激化するも、大嶋はなかなか戦いに加わることができず、ひとつ順位を落とし14番手でレースを戦っていった。

そんな第7戦は3時間というレース距離で、2回のピットストップが義務づけられるが、8周を終え早くも1回目のストップ

を行う車両が現れはじめた。奇策ではあるが、もしセーフティカーが出た場合、早めのストップはポジションアップに繋がる。その思惑どおり、23周目にはGT300車両のアクシデントで1回目のセーフティカーが導入されることになった。

このセーフティカーランは28周目に解除されたが、その後大嶋の背後からは1回目のストップを終えた車両の集団が迫っていた。ただ、大嶋もポジションは譲らず、苦しい中でも意地のドライブを続けると、37周のスティントを終え大嶋はピットに向かい福住に交代した。

レースペースは序盤同様苦しいものの、福住が駆るENEOS X PRIME GR Supraにはチャンスもやってきた。49周目、GT300車両のクラッシュによる2回目のセーフティカーが導入され、55周目に退去すると、福住はすぐにピットインし2回目のストップを行った。このタイミングも良く、さらに1回目のピットインを引っ張ったことで給油量も少なく済み、ENEOS X PRIME GR Supraはピット時間を短縮。実質的に2番手の位置までジャンプアップしてみせ



た。福住は前を走る#100 HRC Prelude-GTを追ったが、逆に後方から接近した#36 GR Supraや#39 GR Supraに60周目に先行されてしまう。その後もズルズルと順位は下がってしまった。

72周目には13番手までドロップし、ピットはさらに別のタイヤも履くトライを行おうと、再度福住を呼び戻した。ただENEOS X PRIME GR Supraのペースは最後まで改善せず、3時間レースは13位という結果でフィニッシュすることになった。

これまでも苦手意識が強かったオートボリスで、課題解決に至るところかさらに悪化してしまった。レース後、ドライバーふたり、エンジニアは悲痛な表情を浮かべた。

しかし、課題には立ち向かっていくしかない。シーズンは残すはモビリティリゾートもてぎでの2戦のみ。TGR TEAM ENEOS ROOKIEは前だけを見て進んでいく。



VOICE ドライバー／GM／監督コメント



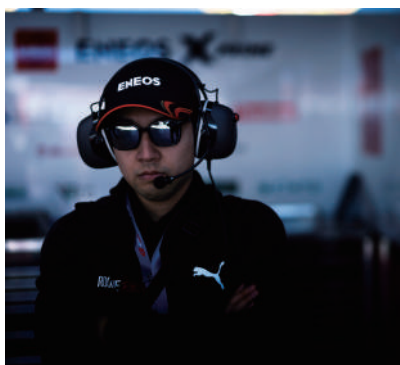
Nirei FUKUZUMI DRIVER 福住仁嶺

「公式予選から Q1 を突破できない結果になってしまいましたし、決勝レースでもスタート前のウォームアップから苦しい雰囲気を感じ取っていました。オートポリスでは毎年のようにいろいろな課題があったので、今シーズンはチャレンジを行ってきましたが、それもうまくいきませんでした。今年はそのダメさ加減が本当にひどくて、これでは話にならないと思います。このままではいつまで経ってもチャンピオンは獲れないです。もちろん僕たちドライバーも含め、クルマの作り方など、またみんなで勉強しなければいけませんね。最終戦はモビリティリゾートもてぎでの 2 レースですが、気持ちを切り替えてまた頑張りたいと思っています」



Kazuya OSHIMA DRIVER 大嶋和也

「例年このオートポリスはうまくいかず、決勝レースでペースが作れませんでした。今年はいろいろな方向性を変えてトライしたものの、変化が出ず苦しいレースになってしまいました。苦しい中でもなんとか食らいつき、セーフティカーの 1 回目こそ運に見放されたものの 2 回目ではうまく戦略を決めることができました。ただ、内圧など再調整したものの改善せず、辛いレースになってしまいました。もう何年もこのオートポリスではこんな感じになってしまっているの、なんとかしないといけないのですが、なかなか原因が掴めません。エンジニアも、僕たちドライバーも落ち込んでいますが、もてぎは今回のような悩みはないと思っているので、前向きに頑張りたいと思います」



Daisuke TOYODA GENERAL MANAGER 豊田大輔

「オートポリスは予選よりも決勝ペースが重要で、しっかりクルマを作ろうと準備したものの、ペースがまったくなくドライバーには苦しい思いをさせてしまいました。ピット作業やタイミングももちろん重要ですが、ペースがない限りは競争力がありません。2 回目のセーフティカーでは良いタイミングでピットに入り、給油量を少なくし前に出られたのは良かったのですが、ペースさえあれば 100 号車と戦うことができました。このオートポリスは毎年鬼門で、本当に困ったなと思っています。もう一度しっかり分析したいですね。シーズンを考えるとかなり絶望的な状況ですが、ここからチームをどう立て直すかが重要です。ROOKIE Racing らしく、もてぎに向けて次に繋がる戦い方を模索していきたいですね」



Toshiaki TAKEDA DIRECTOR 武田敏明

「公式予選もそうですし、決勝レースもそうですが、クルマのパフォーマンスがなかったことに尽きると思います。ストラテジーについては、1 回目のセーフティカーの時は少しやられたと思ったものの、2 回目は実質 2 番手につける位置に送り出すことができました。ただやはりパフォーマンスがなく、ズルズルと落ちてしまったのでドライバーのふたりには厳しい中でのドライビングを強いてしまい申し訳なく思っています。SUGO に続き 2 戦連続でそういう状況を作ってしまったので、最終大会の 2 レースに向けてしっかり原因を究明していきたいですね。まだまだみんな諦めていないですし、今季の締めくくりに向け問題解決に全力で取り組んでいきたいと思っています」

PHOTO GALLERY フォトギャラリー



RESULT リザルト一覧

2026 AUTOBACS SUPER GT ROUND 7 AUTOPOLIS GT 3 HOURS RACE 10.17 18日									
SUPER GT No. 02									
GT500 OFFICIAL PRACTICE RESULT 2026/10/17 13:00 Weather: Sunny Track: Dry									
Pos	No.	Car / Team	Best Time	Diff	Gap	Driver Name	Time	Lap	Lap Speed
1	10	TOYOTA GR Supra GT500	1:34.138			Igor Chushechkin	1:34.138	47/116	178.804
2	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:34.441	0.303	8.225	Takashi Oga	1:34.441	47/12	176.328
3	64	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:34.476	0.337	8.607	Igor Chushechkin	1:34.476	57/14	176.265
4	24	Nissan Z NISMO GT3	1:34.905	0.767	8.447	Yusaku Kurosaki	1:34.905	57/14	172.792
5	188	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:34.987	0.849	8.032	Kazuki Yamamoto	1:34.987	57/14	177.528
6	12	Nissan Z NISMO GT3	1:35.037	0.900	8.269	Kazuki Yamamoto	1:35.037	57/14	177.295
7	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:35.087	0.950	8.032	Kazuki Yamamoto	1:35.087	57/14	177.528
8	12	Nissan Z NISMO GT3	1:35.125	0.988	8.116	Kazuki Yamamoto	1:35.125	57/14	177.448
9	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:35.079	0.941	8.124	Kazuki Yamamoto	1:35.079	57/14	176.864
10	24	Nissan Z NISMO GT3	1:35.108	0.970	8.081	Kazuki Yamamoto	1:35.108	57/14	176.864
11	24	TOYOTA GR Supra GT500	1:35.164	0.026	8.081	Kazuki Yamamoto	1:35.164	57/14	176.864
12	24	TOYOTA GR Supra GT500	1:35.171	0.033	8.081	Kazuki Yamamoto	1:35.171	57/14	176.864
13	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:35.188	0.050	8.081	Kazuki Yamamoto	1:35.188	57/14	176.864
14	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:35.195	0.057	8.081	Kazuki Yamamoto	1:35.195	57/14	176.864
15	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:35.202	0.064	8.081	Kazuki Yamamoto	1:35.202	57/14	176.864
16	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:35.209	0.071	8.081	Kazuki Yamamoto	1:35.209	57/14	176.864
17	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:35.216	0.078	8.081	Kazuki Yamamoto	1:35.216	57/14	176.864
18	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:35.223	0.085	8.081	Kazuki Yamamoto	1:35.223	57/14	176.864
19	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:35.230	0.092	8.081	Kazuki Yamamoto	1:35.230	57/14	176.864
20	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:35.237	0.099	8.081	Kazuki Yamamoto	1:35.237	57/14	176.864

Start Time: 13:00 Finish Time: 15:00 (予選結果は終了後7分)

Red Flag: 15:04:42 ~ 15:05:10 (予選結果は終了後7分)

Chief Timekeeper: Tsuyoshi Kurosaki

Clerk of the Course: Yuuya Hirakida



2026 AUTOBACS SUPER GT ROUND 7 AUTOPOLIS GT 3 HOURS RACE 10.17 18日									
SUPER GT No. 05									
GT500 QUALIFYING 1 RESULT 2026/10/17 15:38 Weather: Sunny Track: Dry									
Pos	No.	Car / Team	Best Time	Diff	Gap	Driver Name	Time	Lap	Lap Speed
1	10	TOYOTA GR Supra GT500	1:32.158			Igor Chushechkin	1:32.158	4/4	181.809
2	188	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.387	0.229	8.407	Kazuki Yamamoto	1:32.387	4/4	181.205
3	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.454	0.296	8.194	Kazuki Yamamoto	1:32.454	4/4	180.448
4	12	Nissan Z NISMO GT3	1:32.587	0.429	8.034	Kazuki Yamamoto	1:32.587	4/4	180.372
5	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.607	0.449	8.034	Kazuki Yamamoto	1:32.607	4/4	180.372
6	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.627	0.469	8.034	Kazuki Yamamoto	1:32.627	4/4	180.372
7	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.647	0.489	8.034	Kazuki Yamamoto	1:32.647	4/4	180.372
8	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.667	0.509	8.034	Kazuki Yamamoto	1:32.667	4/4	180.372
9	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.687	0.529	8.034	Kazuki Yamamoto	1:32.687	4/4	180.372
10	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.707	0.549	8.034	Kazuki Yamamoto	1:32.707	4/4	180.372
11	24	Nissan Z NISMO GT3	1:32.727	0.569	8.034	Kazuki Yamamoto	1:32.727	4/4	180.372
12	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.747	0.589	8.034	Kazuki Yamamoto	1:32.747	4/4	180.372
13	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.767	0.609	8.034	Kazuki Yamamoto	1:32.767	4/4	180.372
14	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.787	0.629	8.034	Kazuki Yamamoto	1:32.787	4/4	180.372
15	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.807	0.649	8.034	Kazuki Yamamoto	1:32.807	4/4	180.372

Start Time: 15:04:42 Finish Time: 15:13:00

Chief Timekeeper: Tsuyoshi Kurosaki

Clerk of the Course: Yuuya Hirakida



2026 AUTOBACS SUPER GT ROUND 7 AUTOPOLIS GT 3 HOURS RACE 10.17 18日									
SUPER GT No. 09									
GT500 QUALIFYING OFFICIAL RESULT 2026/10/17 17:27 Weather: Sunny Track: Dry									
Pos	No.	Car / Team	Best Time	Diff	Gap	Driver Name	Time	Lap	Lap Speed
1	10	TOYOTA GR Supra GT500	1:32.414			Igor Chushechkin	1:32.414	4/4	178.580
2	12	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.509	0.095	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.509	4/4	178.580
3	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.585	0.171	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.585	4/4	178.580
4	108	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.648	0.234	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.648	4/4	178.580
5	12	Nissan Z NISMO GT3	1:32.712	0.298	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.712	4/4	178.580
6	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.775	0.361	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.775	4/4	178.580
7	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.838	0.424	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.838	4/4	178.580
8	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.901	0.487	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.901	4/4	178.580
9	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.964	0.550	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.964	4/4	178.580
10	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:33.027	0.613	8.176	Kazuki Yamamoto	1:33.027	4/4	178.580
11	24	Nissan Z NISMO GT3	1:33.090	0.676	8.176	Kazuki Yamamoto	1:33.090	4/4	178.580
12	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:33.153	0.739	8.176	Kazuki Yamamoto	1:33.153	4/4	178.580
13	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:33.216	0.802	8.176	Kazuki Yamamoto	1:33.216	4/4	178.580
14	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:33.279	0.865	8.176	Kazuki Yamamoto	1:33.279	4/4	178.580
15	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:33.342	0.928	8.176	Kazuki Yamamoto	1:33.342	4/4	178.580

Start Time: 15:04:42 Finish Time: 15:13:00 / Q2: Start Time: 15:41:50 Finish Time: 15:51:50

Chief Timekeeper: Tsuyoshi Kurosaki

Clerk of the Course: Yuuya Hirakida

Chief Steward: Masao Mizuno



2026 AUTOBACS SUPER GT ROUND 7 AUTOPOLIS GT 3 HOURS RACE 10.17 18日									
SUPER GT No. 12									
GT500 OFFICIAL RESULT 2026/10/18 18:38 Weather: Sunny Track: Dry									
Pos	No.	Car / Team	Best Time	Diff	Gap	Driver Name	Time	Lap	Lap Speed
1	10	TOYOTA GR Supra GT500	1:32.414			Igor Chushechkin	1:32.414	4/4	178.580
2	12	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.509	0.095	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.509	4/4	178.580
3	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.585	0.171	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.585	4/4	178.580
4	108	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.648	0.234	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.648	4/4	178.580
5	12	Nissan Z NISMO GT3	1:32.712	0.298	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.712	4/4	178.580
6	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.775	0.361	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.775	4/4	178.580
7	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.838	0.424	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.838	4/4	178.580
8	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.901	0.487	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.901	4/4	178.580
9	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:32.964	0.550	8.176	Kazuki Yamamoto	1:32.964	4/4	178.580
10	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:33.027	0.613	8.176	Kazuki Yamamoto	1:33.027	4/4	178.580
11	24	Nissan Z NISMO GT3	1:33.090	0.676	8.176	Kazuki Yamamoto	1:33.090	4/4	178.580
12	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:33.153	0.739	8.176	Kazuki Yamamoto	1:33.153	4/4	178.580
13	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:33.216	0.802	8.176	Kazuki Yamamoto	1:33.216	4/4	178.580
14	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:33.279	0.865	8.176	Kazuki Yamamoto	1:33.279	4/4	178.580
15	18	Modulo HRC PRELUDE-GT	1:33.342	0.928	8.176	Kazuki Yamamoto	1:33.342	4/4	178.580

Start Time: 15:04:42 Finish Time: 15:13:00 / Q2: Start Time: 15:41:50 Finish Time: 15:51:50

Chief Timekeeper: Tsuyoshi Kurosaki

Clerk of the Course: Yuuya Hirakida

Chief Steward: Masao Mizuno



ROOKIE RACING

SUPER GT
GT500 / TGR TEAM ENEOS ROOKIE

Our activities are supported by all partners

ROOKIE Racing の活動は、多くの皆さまのご協力によって支えられています

ENEOS

AISIN

さあ、街から未来をかえよう
三井不動産
MITSUI FUDOSAN

ThreeBond

docomo Business

MITSUI & CO.

HAYASHI
TELEMPU

いつもさいしよ、アタラシイコト。
VITEC
Creative Power

NSK

SMBC

KINTO

かいけつゾロ

vuteq

TAMIYA

asics

ジャパンボ
チヨコモナカ



ENKEI